

エコアクション21

環境経営レポート



日本最後の清流 四万十川の沈下橋



雄大な太平洋へと流れる
四万十川の清らかな支流水



現場上空より眺めた四万十川

対象期間

令和6年7月1日～令和7年6月30日

発行年月日

令和 7年 8月 15日

有限会社 十和建设


エコアクション21[®]
認証番号 0007470

環境経営レポート目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、環境経営レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営計画の取組結果とその評価
9. 次年度の環境経営計画の取組内容
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示
12. その他の取組



環境経営レポートの発行日：令和 7 年 8 月 15 日

発行責任者：環境管理責任者 松下 修也



1.組織の概要

【対象事業所名】 有限会社 十和建設

【代表者名】 代表取締役 松下 充宏

【対象事業所所在地】

本社	〒786-0535 高知県高岡郡四万十町十和川口441番地3
建設資材倉庫	〒786-0533 高知県高岡郡四万十町井崎ミヤノクボ470番地1
自動車整備工場	〒786-0535 高知県高岡郡四万十町十和川口441番地3

【環境保全関係の責任者及び担当者連絡先】(電話番号等)

【環境管理責任者】 松下 修也

【連絡担当者】 EA21事務局:松下 美恵

連絡先 TEL 0880-28-5505 FAX 0880-28-5159
E-mail to-ken@shimanto.tv

【対象事業活動の内容】

*《建設業》 (主に土木一式工事)

*許可番号 : 高知県知事許可(特-06)第4699号
*許可有効期限 : 令和7年1月6日～令和12年1月5日
*建設業の種類 : 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、
石工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工
事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施
設工事業、解体工事業

*《自動車整備業》 (主に自動車の販売・車検・点検整備・廃車引取り業)

*認証番号 : 四運指第1344号
*許可年月日 : 平成3年11月19日
*自動車整備業の種類 : 普通自動車(大型)、普通自動車(中型)、普通自動車(小型)
小型四輪自動車、小型二輪自動車、大型特殊自動車、軽自動車

【事業規模】

設立年月日 昭和56年7月13日
資本金 2000万円 従業員数は令和7年6月30日現在

活動規模	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事等の件数	件	6	6	7	7	7
売上高	百万円	104	110	165	185	120
従業員	人	15	15	15	15	15
事務所床面積	m ²	80	80	80	80	80
本社駐車場面積	m ²	307	307	307	307	307
資機材置場面積	m ²	500	500	500	500	500
自動車整備工場等床面積	m ²	360	360	360	360	360

【会計年度】 7月1日～6月30日

2.対象範囲、環境経営レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

【対象事業所名】 有限会社 十和建设 全社(全組織・全活動)

本社	〒786-0535 高知県高岡郡四万十町十和川口441番地3	(常駐者:12名)
建設資材倉庫	〒786-0533 高知県高岡郡四万十町井崎ミヤノクボ470番地1	(常駐者:0名)
自動車整備工場	〒786-0535 高知県高岡郡四万十町十和川口441番地3	(常駐者:3名)

【事業活動】

建設業(土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業)自動車整備販売業

【レポートの対象期間】

令和 6年 7月 1日 ~ 令和 7年 6月 30日

レポートの発行については会計年度に合わせる

【環境経営レポートの発行日】

令和 7年 8月 15日

【次回環境経営レポート発行日】

令和 8年 8月

【作成責任者】

環境管理責任者 松下 修也

3.環境経営方針

環境経営方針

私たちは、更なる地球環境の保護・保全が社会的な重要課題であることを再認識し、建設業並びに自動車整備業を通じて環境負荷の低減を図り、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。なお、近年の高齢化と、若手技術者不足による経営上の課題を解決し、森林土木分野などの異業種への参入も視野に入れて事業を推進していきたい。

当社の行動指針

高知県西南地域に位置する四万十町は、「日本最後の清流」と言われる四万十川をはじめ、豊かな自然が保たれるなか、日本の原風景が数多く残っています。私たちは、これらを守り、育んでいくには、景観の価値を再認識し開発行為等の経済活動、人々の生活との調和を図りつつそれを保存し、意識を高めていく必要があります。先人の英知と努力によって守られてきた四万十川と後背の森林地帯の自然を大切に保存するために事業活動を通じ、環境への影響を全社員と共有し理解するとともに、EA21環境マネジメントシステムの継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的・積極的に取り組みます。

1. 当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を遵守します。
2. 事業活動に伴う環境影響への負荷の低減を図るため以下の活動を推進します。
 - ① 電力・重機車輛類燃料使用量の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 建設工事及び自動車整備業における廃棄物排出量の削減、及びリサイクルの推進
 - ③ 節水による水使用量の削減
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 環境配慮型施工の推進並びに環境配慮型製品の購入
 - ⑥ 環境活動における社会貢献の推進
 - ⑦ 排出ガス低減・燃費向上に有効なエコ整備車両の推進
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。
4. 環境経営レポート等環境情報については外部に公表します。

制定日：平成22年11月24日

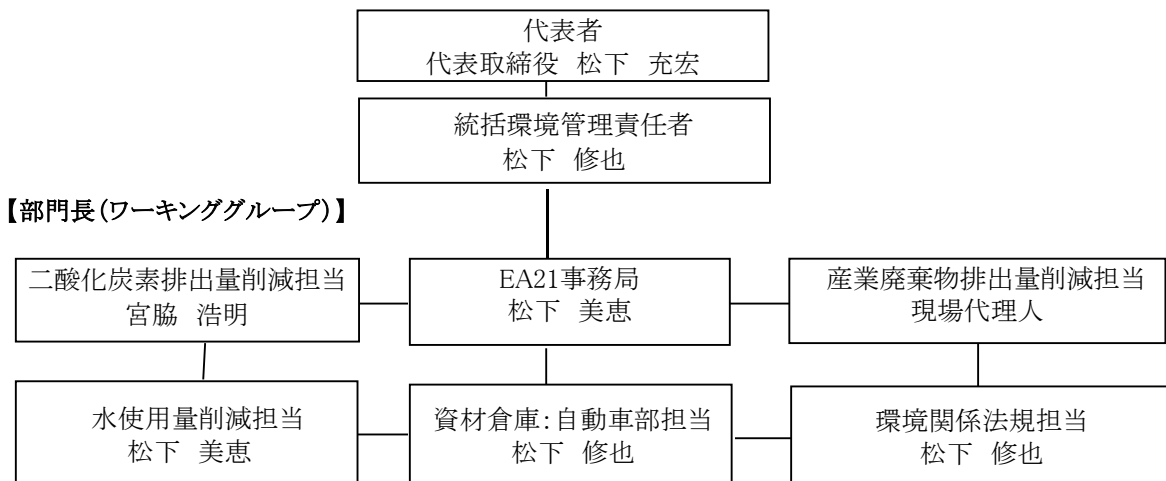
改定日：令和1年7月1日

代表取締役

松下充宏

4.環境管理組織体制

1. 当社のEA21を運用するための組織を次の通りとします。



2. 責任と権限

1)代表者 【代表取締役 松下 充宏】

- ① EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持ち環境経営方針を策定する。
- ② 経営資源(人、物、金)を把握し提供する。
- ③ 環境管理責任者を任命し、環境経営目標、環境経営計画、環境管理体制を承認する。
- ④ 代表者による全体評価と見直しの実施。
- ⑤ 環境経営レポートの承認。

2)環境管理責任者 【専務 松下 修也】

- ① 環境経営システムの構築、実施、管理を行う。
- ② 環境関連法規制等の遵守、評価の取りまとめ表を確認、承認を行う。
- ③ 環境経営目標、環境経営計画、環境管理体制を確認する
- ④ 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
- ⑤ 環境活動レポートの作成。

3)EA21事務局 【松下 美恵】

- ① 各部署の環境活動実績集計を毎月記録し、推移を把握する。
- ② 各環境経営目標原案を作成する。
- ③ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口とする。

4)部門長(ワーキンググループ)

- ① 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施
- ② 自部門に関係する環境経営計画の実施、達成状況報告
- ③ 自部門に関係する緊急事態訓練の実施・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

5)全従業員

- ① 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、積極的に環境活動へ参加する。

5.環境経営目標

対象期間:令和6年7月1日～令和7年6月30日まで

(1)単年度目標

総量目標

平成30年度を基準年とし令和6年度は-1%の削減率を目標に設定を見直しました

CO2排出量については、総排出量(kg-CO2)と原単位(kg-CO2/百万円)で表記しています。

項目	単位	基準年		
		目標		
		-1%削減		
		H. 30年度	R. 6年度	
		H30. 7～R. 1. 6	R. 6. 7～R. 7. 6	
電力使用量(現場)	kWh	21,972	21,752	
電力使用量(事務所)	kWh	18,432	18,248	
ガソリン使用量(現場)	L	3,412	3,378	
ガソリン使用量(事務所)	L	5,303	5,250	
軽油使用量(現場)	L	15,647	15,491	
軽油使用量(事務所)	L	0	0	
灯油使用量(現場)	L	300	297	
灯油使用量(事務所)	L	0	0	
CO2排出量	総排出量	kg-CO2	98,497	97,512
	原単位	kg-CO2/百万円	657	650
水使用量	m ³	462	457	
一般廃棄物排出量	t	0.76	0.75	
産業廃棄物排出量	t	58.9	58.3	
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	
*グリーン購入費	購入回数	25回以上	26回	
環境配慮工事	件	全件	全件	
環境配慮型資材	件	全件	全件	
社会貢献活動	回	6回以上	6回	
*エコ整備の推進	台数	25台以上	26台	

- * 本年度の実績、目標のCO2の発生量については、電気事業者別の排出係数(平成30年度実績)(令和2年1月7日公表)四国電力㈱の調整後排出係数【0.528kg-CO2/kWh】で排出量を算出しました。
- * 水使用量については、上水道の使用量すべてが排水されると解釈し水道量メーターの集計数値としました。
- * グリーン購入費は当面事務用品について取組み、事務用品全体に対する環境用品の購入件数(回数)で計上しました。
- * エコ整備の推進とは、自動車から排出される有害ガスの低減や、燃費を向上さす整備のことですが、エコ整備に該当する顧客への販売商品の件数(回数)で計上し、対基準年より多く販売件数を増大させるよう努めます。
- * (*)については前年度比より増となるよう目標設定をしています
- * 環境配慮型工事・資材については全受注工事において、環境に配慮した工法の提案、資材の活用に努めます。

(2) 中長期目標

CO2排出量については、総排出量(kg-CO2)と原単位(kg-CO2/百万円)で表記しています。

項目	単位	平成30年度	R, 7年度	R, 8年度	R, 9年度	R, 10年度	R, 11年度
		基準年	目標	目標	目標	目標	目標
		—	-2%削減	-3%削減	-4%削減	-5%削減	-6%削減
電力使用量(現場)	kWh	21,972	21,533	21,313	21,093	20,873	20,654
電力使用量(事務所)	kWh	18,432	18,063	17,879	17,695	17,510	17,326
ガソリン使用量(現場)	L	3,412	3,344	3,310	3,276	3,241	3,207
ガソリン使用量(事務所)	L	5,303	5,197	5,144	5,091	5,038	4,985
軽油使用量(現場)	L	15,647	15,334	15,178	15,021	14,865	14,708
軽油使用量(事務所)	L	0	0	0	0	0	0
灯油使用量(現場)	L	300	294	291	288	285	282
灯油使用量(事務所)	L	0	0	0	0	0	0
CO2排出量	kg-CO2	98,497	96,527	95,542	94,557	93,572	92,587
	kg-CO2/百万円	657	644	637	631	624	618
水使用量	m ³	462	453	448	444	439	434
一般廃棄物排出量	t	0.76	0.74	0.74	0.73	0.72	0.71
産業廃棄物排出量	t	58.9	57.7	57.1	56.5	56.0	55.4
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100	100	100
*グリーン購入費	購入回数	25回以上	〃	〃	〃	〃	〃
環境配慮工事	件	全件	〃	〃	〃	〃	〃
環境配慮型資材	件	全件	〃	〃	〃	〃	〃
社会貢献活動	回	6回以上	〃	〃	〃	〃	〃
*エコ整備の推進	台数	25台以上	〃	〃	〃	〃	〃

* (*)グリーン購入費については事務用品の購入件数(回数)の増、エコ整備の推進については顧客への理解を求め、受注販売件数(回数)が対前年度より増となるように目標にしています。

6.環境経営計画

対象期間:令和6年7月1日～令和7年6月30日まで

部署	項目	活動内容	担当者	期限	
全部署	二酸化炭素削減	電力使用量の削減	松下 充宏 宮脇 浩明	通年	
		外出時、不要時の消灯を心がけるこまめな節電を行う			
		PCのオート節電設定、こまめな電源のオン:オフを実施する			
		夏季、冬季におけるエアコンの適正温度の設定を行う(夏季28℃、冬季20℃)			
	燃料使用量の削減	燃料使用量の削減	クールビズ、ウオームビズなどの適用策の実施	松下 充宏 宮脇 浩明	通年
			無駄なアイドリングは行わず、エンジンの暖気時間を短くする		
			余分な積載物は取り除きエコドライブを心がける		
			定期的なオイル交換、タイヤの適正な空気圧をこまめにチェックする		
			無駄な空ぶかし、急加速、急発進は行わない		
			多人数の乗合せによる移動計画を行う		
	廃棄物削減	一般廃棄物 産業廃棄物	低燃費車への切替検討:低燃費型、排気ガス規制機械を使用する	松下 美恵 松下 充宏	通年
			(エコ運転10のすすめ)の徹底		
			分別の細分化によるリサイクルの推進に取り組む		
			不要コピー紙の裏面再使用:両面印刷を心がける		
			アルミ缶、ビン類は地元小学校の廃品回収事業に協力する		
マニフェストによる排出管理表の管理を怠らない					
全部署	水使用量の削減	年度初めには委託処分場の確認を行う	松下 修也	通年	
		水を流しながらの洗浄、手洗いを禁止する(洗車時間の短縮を図る)			
		定期的な漏水チェックを行う			
本社:工務課	グリーン製品の積極購入	谷水を利用引水している貯水タンク洗浄をこまめに行う	松下 美恵	通年	
		リサイクルカートリッジ品の使用を心がける			
	環境に配慮した工法	グリーン:エコマーク製品を積極的に購入する	松下 美恵 宮脇 浩明 松下 充宏	工事受注時	
		低騒音、環境対策型機械の使用			
		作業の効率化を図る			
	環境配慮型資材調達	施工地域に沿った施工方法の選定	松下 美恵 宮脇 浩明 松下 充宏	工事受注時	
		県内産資材の調達、環境対応資材の提案			
	社会貢献の推進	社会貢献の推進	再生資材、材料、二次製品等の多使用化を心がける	松下 充宏	通年
			地域に密着したロードボランティア活動の推進を行う		
			高知県とのオフセットクレジット(J-VER)の購入促進		
自動車	エコ整備の推進	四万十川一斉清掃等への参加を積極的に行う	松下 修也	通年	
		顧客への理解を求めエコ部品への交換を推奨:提案する			
	自動車リサイクルの推進	燃費向上に向けた顧客への整備提案を引き続きおこなう			
		使用済自動車の引渡し(適正処理委託)を行う			

*エコ整備とは、自動車から排出される排気ガス削減のために行うエンジン燃焼室洗浄とオイル潤滑系内洗浄や、排出ガスの低減や燃費を向上させる整備のことですが、顧客の理解が前提であるため対基準年より多く件数を増大させるよう顧客理解に努めます。

*自動車リサイクルの推進は、引き取り委託業者に引き渡し適正処理された実績台数を管理しています。

7.環境経営目標の実績

期間:令和6年7月1日～令和7年6月30日

(1)本年度実績 令和6年度

評価:達成 ○、不十分 △、未達成 × で記載しています 達成率=目標÷実績×100 目標比=実績÷目標×100

CO2排出量については、総排出量(kg-CO2)と原単位(kg-CO2/百万円)で表記しています。

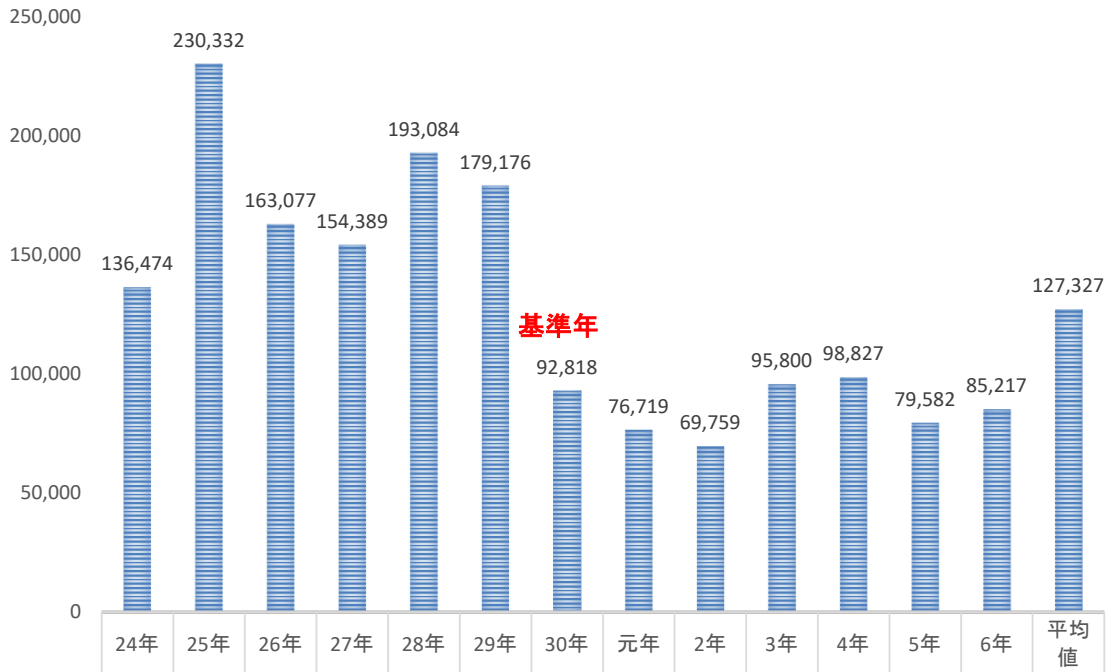
項目	単位	基準年	目標	実績	達成率 目標比	評価	
		H. 30年度	-1%削減 R. 6年度	R. 6年度			
		H30. 7～R1. 6	R. 6. 7～R7. 6	R. 6. 7～R7. 6			
電力使用量(現場)	kWh	21,972	21,752	26,766	81%	×	達成率で表記
電力使用量(事務所)	kWh	18,432	18,248	18,943	96%	×	
ガソリン使用量(現場)	L	3,412	3,378	5,402	63%	×	
ガソリン使用量(事務所)	L	5,303	5,250	3,901	135%	○	
軽油使用量(現場)	L	15,647	15,491	15,233	102%	○	
軽油使用量(事務所)	L	0	0	0	0%	—	
灯油使用量(現場)	L	300	297	80	371%	○	
灯油使用量(事務所)	L	0	0	0	0%	—	
CO2排出量	kg-CO2	98,497	97,512	85,217	114%	○	
	kg-CO2/百万円	657	650	710	92%	×	
水使用量	m ³	462	457	328	139%	○	
一般廃棄物排出量	t	0.76	0.75	0.68	110%	○	
産業廃棄物排出量	t	58.9	58.3	73.26	80%	×	
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100%	○	目標比で表記
*グリーン購入費	購入回数	25回以上	26回	31回	100%	○	
環境配慮工事	件	全件	〃	全件	100%	○	
環境配慮型資材	件	全件	〃	全件	100%	○	
社会貢献活動	回	6回以上	6回	8回	100%	○	
*エコ整備の推進	台数	25台以上	26台	48台	100%	○	

- * 本年度の実績、目標のCO2の発生量については、電気事業者別の排出係数(平成30年度実績)(令和2年1月7日公表)四国電力欄の調整後排出係数【0.528kg-CO2/kWh】で排出量を算出しました。
- * 水用量については、上水道の使用量すべてが排水されると解釈し水道量メーターの集計数値としました。
- * グリーン購入費は当面事務用品について取組み、事務用品全体に対する環境用品の購入件数で計上しました。
- * エコ整備の推進とは、自動車から排出される有害ガスの低減や、燃費を向上させる整備のことですが、エコ整備に該当する顧客への販売商品の件数で計上し、対基準年より多く販売件数を増大させるよう努めます。
- * (*)については前年度比より増となるよう目標設定をしています。
- * 環境配慮型工事・資材については全受注工事において、環境に配慮した工法の提案、資材の活用に努めます。

【環境経営目標未達成理由】

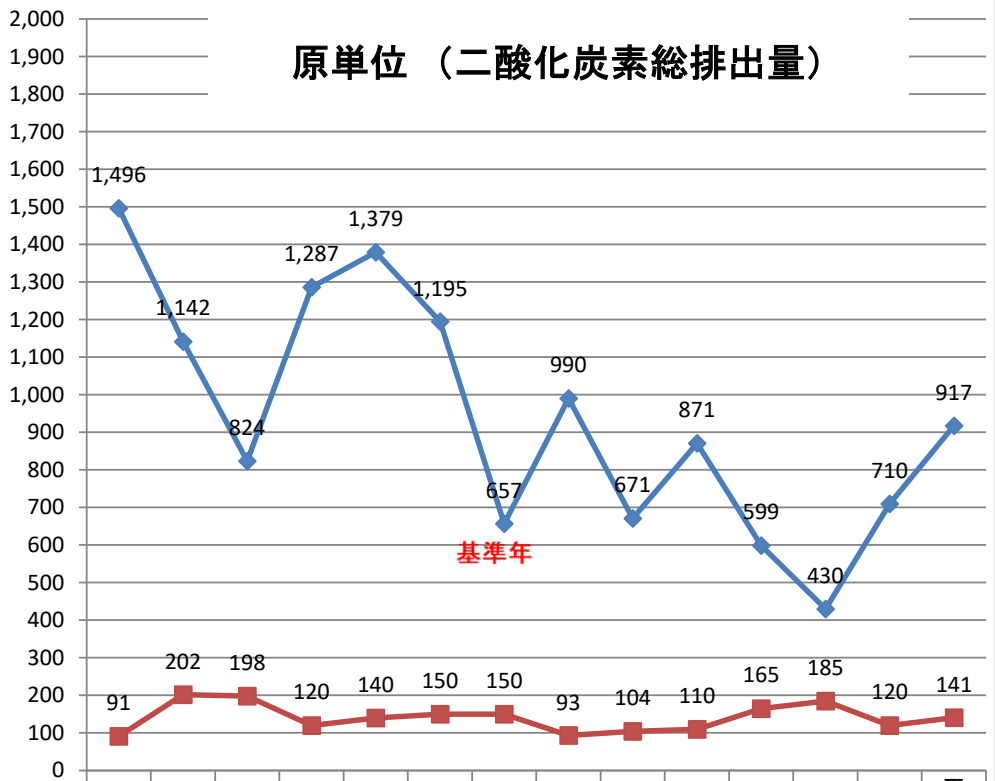
*電力使用量(現場) *電力使用量(事務所) *灯油使用量(現場)	例年に続き夏季の猛暑、冬季の寒波により電力使用量の増加傾向にあるが、電力使用量の削減に取り組む姿勢も随所に見受けられた。これからも引き続き削減に向け取組を行います。
*ガソリン使用量	遠方への現場の往来に時間を要したため燃料費の増となりましたが、燃料使用量の削減に取り組む姿勢も随所に見受けられた。これからも引き続き燃料費の削減に向け取組を継続します。
*軽油使用量	受注内容に左右されることもあり稼働重機などの燃料消費量の減となりましたが、燃料使用量の削減に取り組む姿勢も随所に見受けられた。引き続き燃料費の削減に向け取組を継続します。
*産業廃棄物排出量	受注事業の内容により産業廃棄物排出量は増減しますが、引き続き削減に向け取組を行います。

kg-CO₂ 排出量



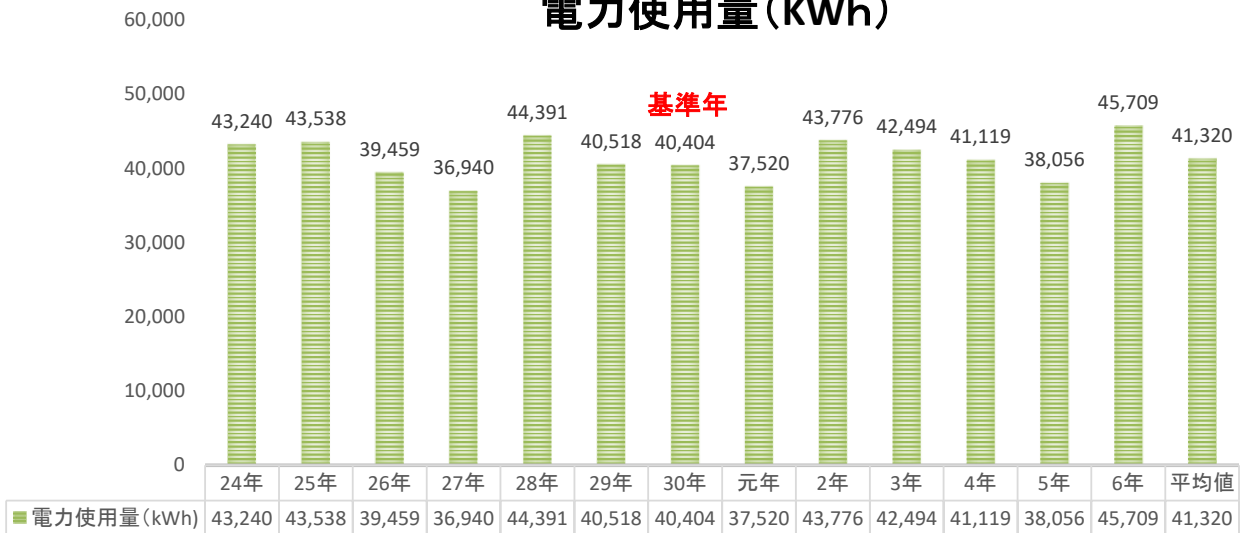
■ kg-CO ₂ 排出量	136,474	230,332	163,077	154,389	193,084	179,176	92,818	76,719	69,759	95,800	98,827	79,582	85,217	127,327
--------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

原単位（二酸化炭素総排出量）

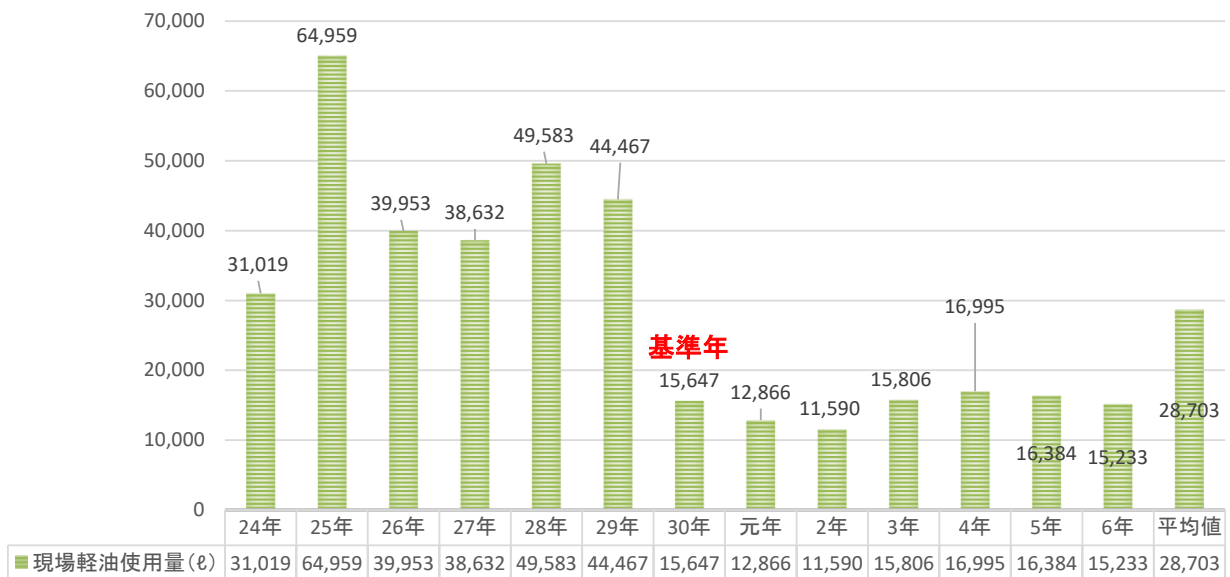


	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	平均値
◆ 原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	1,496	1,142	824	1,287	1,379	1,195	657	990	671	871	599	430	710	917
■ 売上高 (百万円)	91	202	198	120	140	150	150	93	104	110	165	185	120	141

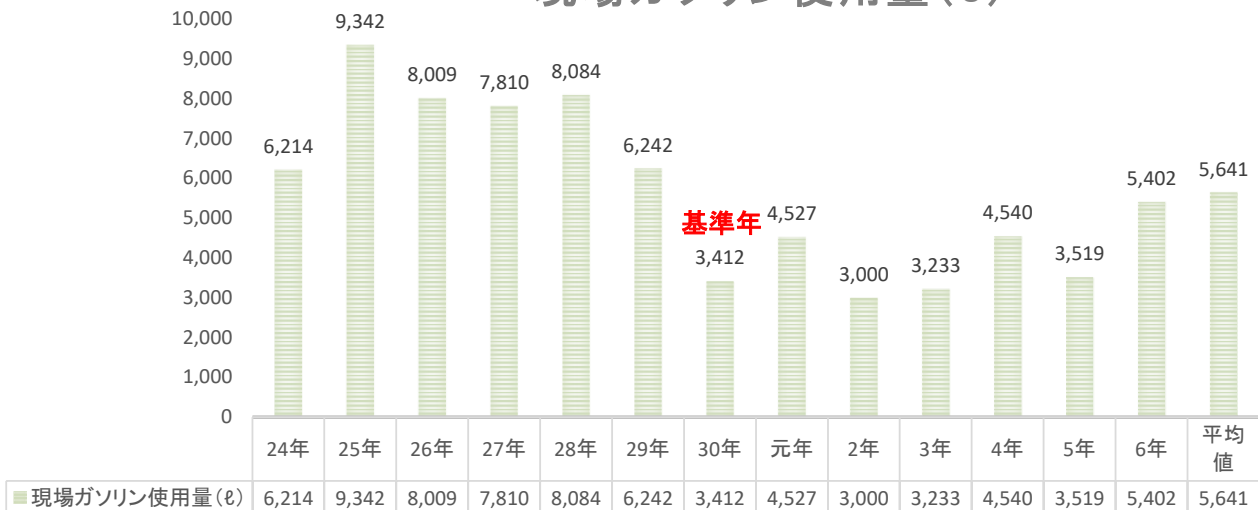
電力使用量(kWh)



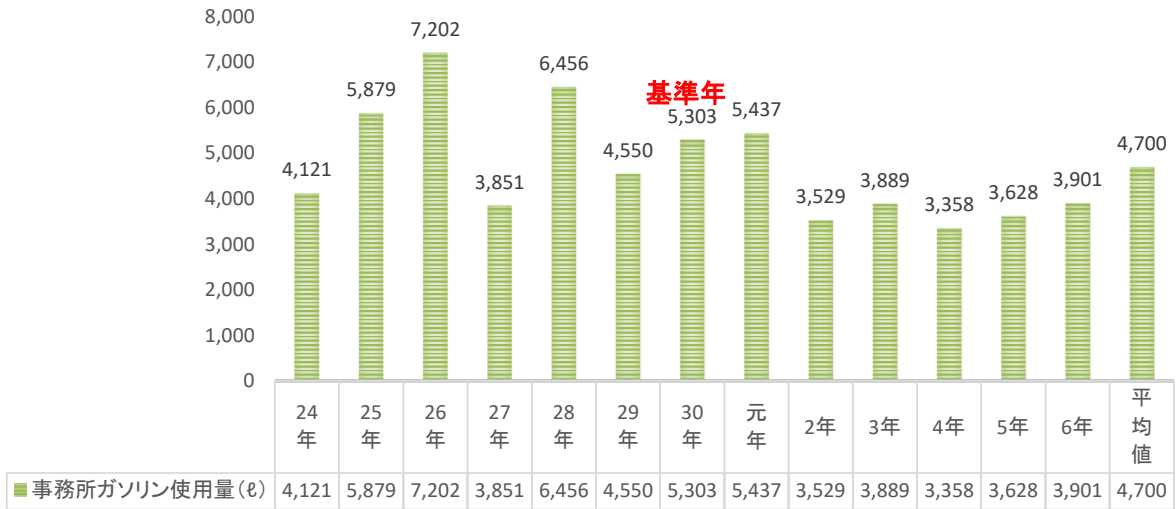
現場軽油使用量(ℓ)



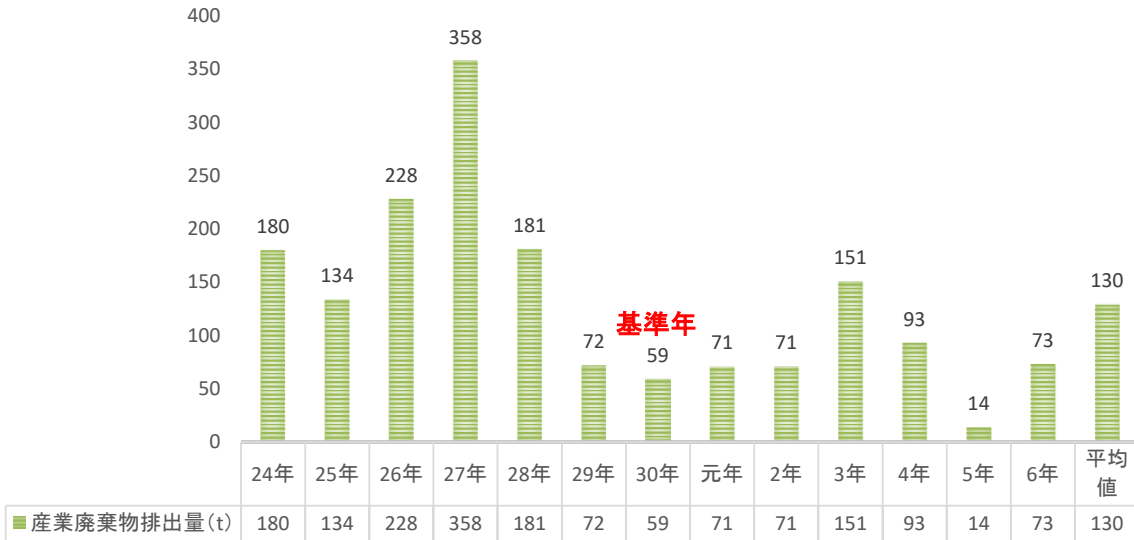
現場ガソリン使用量(ℓ)



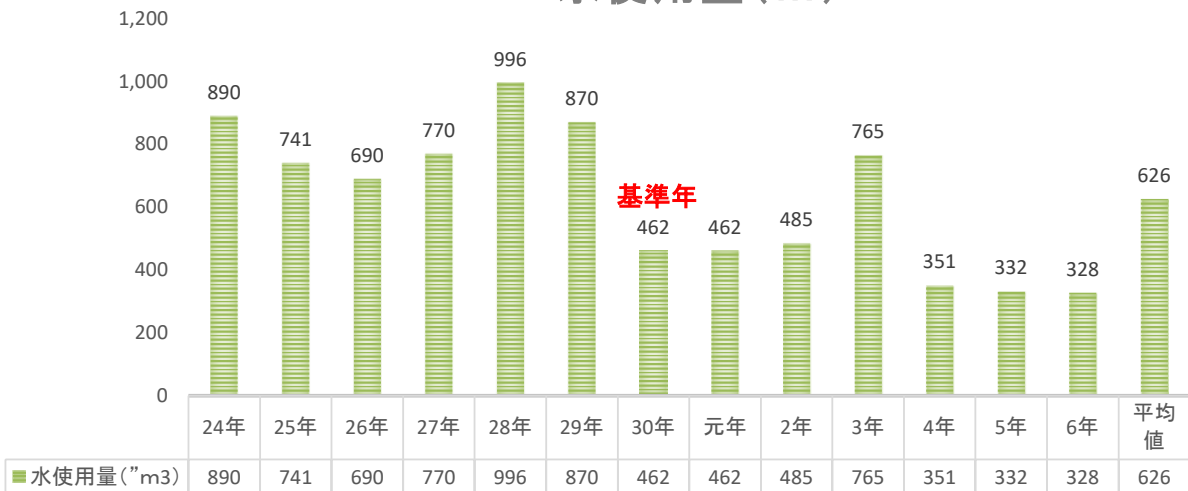
事務所ガソリン使用量(ℓ)



産業廃棄物排出量(t)



水使用量(m³)



年間エネルギーコストの推移

1 化石燃料使用量の推移

金額(円)

項目		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
現場・ 修理工場	化石燃料 使用量						
	従量・ 深夜電力	329,711	352,055	326,354	348,496	263,430	454,049
	低圧電力	324,220	373,075	426,414	460,036	389,917	489,564
本社	従量電力	570,347	547,173	575,924	686,170	686,170	690,705
本社・ 工務課	ガソリン (事務所)	652,440	494,060	602,467	554,070	616,760	663,170
現場・ 修理工場	ガソリン (現場)	633,780	420,000	497,240	749,100	598,230	918,340
現場	軽油	1,543,920	1,390,800	2,238,501	2,549,250	2,457,600	2,284,950
現場	灯油	21,600	57,690	77,250	22,375	31,250	10,000
	合計金額	4,076,018	3,634,853	4,744,150	5,369,497	5,043,357	5,510,778

* 令和元年度より集計

2 年間のエネルギーコストの推移

項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
売上高(百万)	93	104	110	165	185	120
CO2排出量 (kg-CO2)	92,071	69,759	95,800	98,827	79,582	85,217
百万あたりのCO2排出 量 (kg-CO2/百万)	990	671	871	599	430	710
エネルギーコスト(円)	4,076,018	3,634,853	4,744,150	5,369,497	5,043,357	5,510,778
売上高/エネルギー費 用(%)	4.4%	3.5%	4.3%	3.3%	2.7%	4.60%
1トン当たりの CO2排出単価(円)	44,270	41,704	49,521	54,332	63,373	64,656

8.環境経営計画の取組結果とその評価

期間:令和6年7月1日～令和7年6月30日まで

取組結果と評価者: 松下 修也

年間を通じた社員の取組への姿勢、活動内容評価と、環境経営目標の実績に対する評価を記載しました

取組結果: ○取組みが評価できる: △取組みがやや評価できる: ×取組みに対し周知されていない部分が見受けられる

部署	項目	取組への姿勢、活動内容	取組みに対しての結果	評価	見直し	
全部署	二酸化炭素排出量削減	環境経営目標の実績に対する評価		×		
		電力使用量の削減	外出時、不要時の消灯への取組	若干ではあるが節電に対する意識が見受けられるが、更なる節電に努めるよう今後も継続を行うこと	○	定例会で周知し次年度以降も継続して取り組む
			PCのオート節電設定、こまめな電源のオン:オフの実施への取組		○	
			夏季、冬季におけるエアコンの適正温度の設定(夏季28℃ 冬季20℃)		△	
	クールビズ、ウオームビズなどの適用策の実施		○			
	燃料使用量の削減	環境経営目標の実績に対する評価		×		
		無駄なアイドリングは行わず、エンジンの暖気時間を短くする 余分な積載物は取り除きエコドライブを心がける取組 定期的なオイル交換、タイヤの適正な空気圧をこまめにチェックする取組 無駄な空ぶかし、急加速、急発進は行わない 多人数の乗合せによる移動計画を行う 低燃費車への切替検討:低燃費型、排ガス規制機械を使用する (エコ運転10のすすめ)の徹底	今後ともエコ運転への心がけを励行すること 施工箇所が点在し重機の稼働率が上昇したが、削減努力が見受けられる。	○	定例会で周知し次年度以降も継続して取り組む	
				○		
				○		
				○		
○						
○						
廃棄物削減	環境経営目標の実績に対する評価		×			
	一般廃棄物 産業廃棄物	分別の細分化によるリサイクルの推進への取組	本社書庫の処分による一過性の増加、受注機会の変動、工事内容等により廃棄物排出量は大きく変動するが、今後とも廃棄物の排出量削減、ゴミの細分別化を心がけ更なる削減に努めること	○	定例会で周知し次年度以降も継続して取り組む	
		不要コピー紙の裏面再使用:両面印刷を心がける		○		
		アルミ缶、ビン類は地元小学校の廃品回収事業に協力する取組		○		
		マニフェストによる排出管理表の管理を怠らない		○		
年度初めには委託処分場の確認を行う		○				
全部署	水使用量の削減	環境経営目標の実績に対する評価		○		
		事業全般における節水への取組 定期的な漏水チェック 谷水を利用引水している貯水タンク洗浄をこまめに行う	谷水等の利用により節水活動は十分に達成できている	○	次年度以降も継続して取り組む	
				○		
○						
本社:工務課	グリーン製品購入推進	環境経営目標の実績に対する評価		○		
		リサイクルカートリッジ品の使用を心がける グリーン:エコマーク製品を積極的に購入する	今後ともエコ文具の積極的購入をすすめること	○	次年度以降も継続して取り組む	
	環境に配慮した工法	環境経営目標の実績に対する評価		○		
		低騒音、環境対策型機械の使用 作業の効率化への計画、取組姿勢 施工地域に沿った施工方法の選定、計画、取組姿勢	工事の受注機会の状況、発注者側の施工方法等にもよるが、環境に配慮した工法(部材)を積極的に提案し今後も受注件数を増やすこと	○	次年度以降も継続して取り組む	
				○		
	○					
	環境配慮型資材調達	環境経営目標の実績に対する評価		○		
		県内産資材の調達、環境対応型資材の提案、使用 再生資材、材料、二次製品等の多使用化を心がける		○		
	社会貢献の推進	環境経営目標の実績に対する評価		○		
		地域に密着したロードボランティア活動の推進 高知県とのオフセットクレジット(J-VER)の購入促進 四万十川一斉清掃等への参加を積極的に行う	カーボンオフセットをはじめ、今後とも地域に密着した活動に取り組むこと	○	次年度以降も継続して取り組む	
○						
○						
自動車	環境経営目標の実績に対する評価		○			
	エコ整備の推進	顧客への理解を求めエコ部品への交換を推奨:提案する 燃費向上に向けた顧客への整備提案を引き続きおこなう	今後とも接客時にエコ整備の推進を行うこと	○	次年度以降も継続して取り組む	
自動車リサイクルの推進		使用済自動車の引渡し(適正処理委託)を行う	適宜適正に処理されている	○		

*エコ整備とは、自動車から排出される排気ガス削減のために行うエンジン燃焼室洗浄とオイル潤滑系内洗浄や、排出ガスの低減や燃費を向上させる整備のことですが、顧客の理解が前提であるため対基準年より多く件数を増大させるよう顧客理解に努めます。

*自動車リサイクルの推進は、引き取り委託業者に引き渡し適正処理された実績台数を管理しました。

9.次年度の環境経営計画の取組内容

期間:令和7年7月1日～令和8年6月30日まで

項目	活動内容	担当者	期限
二酸化炭素排出量削減	外出時、不要時の消灯を心がける	松下 充宏 宮脇 浩明	通年
	PCのオート節電設定、こまめな電源のオン:オフを実施する		
	夏季、冬季におけるエアコンの適正温度の設定を行う(夏季28℃ 冬季20℃)		
	クールビズ、ウオームビズなどの適用策の実施		
燃料使用量の削減	無駄なアイドリングは行わず、エンジンの暖気時間を短くする	松下 充宏 宮脇 浩明	通年
	余分な積載物は取り除きエコドライブを心がける		
	定期的なオイル交換、タイヤの適正な空気圧をこまめにチェックする		
	無駄な空ぶかし、急加速、急発進は行わない		
	多人数の乗合せによる移動計画を行う		
	低燃費車への切替検討:低燃費型、排気ガス規制機械を使用する		
	(エコ運転10のすすめ)の徹底		
廃棄物排出量削減	分別の細分化によるリサイクルの推進に取り組む	松下 美恵 松下 充宏	通年
	不要コピー紙の裏面再使用:両面印刷を心がける		
	アルミ缶、ビン類は地元小学校の廃品回収事業に協力する		
	マニフェストによる排出管理表の管理を怠らない		
	年度初めには委託処分場の確認を行う		
水使用量の削減	水を流しながらの洗浄、手洗いを禁止する(洗車時間の短縮を図る)	松下 修也	通年
	定期的に漏水チェックを行う		
	谷水を利用引水している貯水タンク洗浄をこまめに行う		
グリーン製品購入推進	リサイクルカートリッジ品の使用を心がける	松下 美恵	通年
	グリーン:エコマーク製品を積極的に購入する		
環境に配慮した工法	低騒音、環境対策型機械の使用	松下 美恵 松下 充宏 現場責任者	工事 受注時
	作業の効率化を図る		
	施工地域に沿った施工方法の選定		
環境配慮型資材調達	県内産資材の調達、環境対応資材の提案		
	再生資材、材料、二次製品等の多使用化を心がける		
社会貢献の推進	地域に密着したロードボランティア活動の推進を行う	松下 充宏	通年
	高知県とのオフセットクレジット(J-VER)の購入促進		
	四万十川一斉清掃等への参加を積極的に行う		
エコ整備の推進	顧客への理解を求めエコ部品への交換を推奨:提案する	松下 修也	通年
	燃費向上に向けた顧客への整備提案を引き続きおこなう		
自動車リサイクルの推進	使用済自動車の引渡し(適正処理委託)を行う		

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

期間: 令和6年7月1日～令和7年6月30日まで

1.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守 状況	担当者 確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	事毎発生時	管理責任者	遵守	発生時
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	事毎発生時	総務	遵守	発生時
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	事毎発生時	総務	遵守	随時
	第12条の三 7項	マニフェストの交付状況報告作成及び高知県知事への提出	1回/年	総務	遵守	R.7.6.30
	施行規則 第8条	保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置(縦60cm以上 横60cm以上)	事毎発生時	管理責任者	遵守	随時
建設工事等に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	第5条	*建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 *建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	各工事毎	管理責任者	遵守	随時
	第12条2	下請工事に対しては下請契約締結前に当該工事の届出事項を告知	各工事毎	管理責任者	遵守	契約時
	第16条	再生資源化等の実施	各工事毎	管理責任者	遵守	随時
	第18条	発注者への完了報告(再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書)	各工事毎	管理責任者	遵守	完了時
資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	管理責任者	遵守	随時
騒音規制法	第5条 第14条	*振動規制基準の遵守 *特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	管理責任者	該当なし	
振動規制法	第5条 第14条	*振動規制基準の遵守 *特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	管理責任者	該当なし	
消防法	第10条	*指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン:200ℓ 第2石油類 灯油、軽油:1,000ℓ 第3石油類 重油:2,000ℓ 第4石油類 潤滑油:6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	管理責任者	該当なし	
	第31条	少量物危険物貯蔵の消防署への届出(指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	管理責任者		
不正軽油の使用禁止	特記仕様書	不正軽油の使用禁止	各工事毎	管理責任者	遵守	随時
オフロード法	第4条2	特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染防止(平成18年10月以降に製作された建設機械については基準適合表示の貼ってあるものを使用)	各工事毎	管理責任者	遵守	随時

浄化槽法	第8条	浄化槽の保守点検	1回/3ヶ月	管理責任者	遵守	随時
	第9条	毎年1回浄化槽の清掃	1回/年 6月	管理責任者	遵守	随時
	第11条	毎年1回指定検査機関の行う水質に関する検査			遵守	随時
グリーン購入法	第5条	物品の購入時にはできる限り環境物品等を選択する	購入毎	総務	遵守	随時
自動車リサイクル法	第9条	顧客からの使用済自動車の引取り 解体業者への引渡し	随時	自動車部	遵守	随時
四万十町環境基本条例	第5条	事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	管理責任者	遵守	随時
高知県四万十川条例	第7条	景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、再生 部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	管理責任者	遵守	随時
フロン排出抑制法	第5条	第1種特定製品(エアコン7.5KW以下)の管理 者は3ヶ月に1回以上簡易点検を実施し記録す る	1回/3ヶ月 以上	管理責任者	遵守	随時

2.環境関連法規並びに条例等への違反、訴訟等の有無

- * 令和6年7月1日より令和7年6月30日まで、環境関連法規などへの違反、外部からの苦情:要望はありません。
- * 関連する法規並びに条例等は自らが自主的にチェックし遵守状況を確認しました。
- * なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

対象期間： 令和6年7月1日～令和7年6月30日

承認	報告

報告者	環境管理責任者 松下 修也
報告日	令和7年7月20日

■ 定時見直し □ 臨時見直し

見直しに必要な情報			代表者による見直し
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規制等の遵守状況 (環境関連法規等遵守記録による) 環境関連法規などへの違反、外部からの苦情:要望はありません ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 電力:燃料費削減に向けた取組事項の周知を全従業員に行いました ③前回までの代表者からの指示事項への対応 特にありません <改善への提案> 特にありません [経営目標・環境経営計画の達成状況] (詳細は環境経営計画書による)			[環境経営方針] 変更の必要性: □有 ■無 本年度も当社の環境経営方針に沿って経営目標並びに経営計画を全従業員に周知させ継続させること [経営目標・経営計画] 変更の必要性: □有 ■無 *取組項目の中には達成できていない分野も見受けられたが、引き続き年間を通じて目標達成に向け削減の継続を行うこと。 *廃油使用量は目標未達成であるがすべてサーマルサイクルとして利用されている。 [環境経営システム] 変更の必要性: □有 ■無 エコアクション21は環境経営システムとして有効に機能している。
目標項目	取組への姿勢	経営目標達成状況	コメント (目標値・活動計画に対するコメント)
使用電力の削減	○	×	電力の使用量増となっているが、無駄な電力の使用を控え削減を継続します
燃料使用量の削減	○	×	使用量は増えたが、引き続き燃料使用量の削減、節約を継続します
一般廃棄物の削減	○	○	前年度に引き続き活動を推進します
産業廃棄物の削減	○	×	前年度に引き続き活動を推進します
水使用量の削減	○	○	自動車洗車時の節水を継続します
グリーン製品購入	○	○	積極的に購入を推進します
環境配慮型工法	○	○	環境配慮型の工法の推進、排出ガス対策型重機の使用を推進します
環境配慮型資材調達	○	○	環境配慮型製品の購入、県内産木材の使用を推進します
社会貢献活動の推進	○	○	地域に密着した社会貢献活動を推進します
自動車エコ整備の推進	○	○	引き続き顧客への理解を求めエコ整備を推進します
自動車リサイクルの推進	○	—	引き続き適正処理を継続します
○=達成できている △=やや不十分 ×=未達成 —=継続できている			
[周囲の変化の状況]			[総括]
①外部コミュニケーション記録より 苦情等は一切ありませんでした ②環境関連法規制等の動向他 <改善への提案> 特にありません			今年度は完成工事高が目減りしたため、今期の削減計画(基準年より-1%)の見直しを行った。EC21への取組については年間の施工全般を通じ、電力使用量、使用燃料削減に対する意識は、全社員が年々向上をしているように見受けられるが、猛暑による電力使用量の増加は顕著であり、また、今年度は受注工事の減少、および下請受注現場の通勤往來の距離が遠く、工務、現場通勤車両等のガソリン使用量は増となった。稼働重機などは環境負荷低減、アイドリングストップなどコスト削減に向けた取り組みなどが継続して見受けられた一年でもあった。今後とも、四万十川流域への生態系の影響を最小限にとどめるような施工方法を実践するとともに、自然環境に極力負荷を与えない工法などの情報収集、研究項目を模索し、事業活動を通じ更なる保全活動の推進を継続したい。
代表者が自ら得た情報			実施体制
			組織体制は十分機能しており現時点では見直しの必要はない。

代表取締役承認サイン	令和7年7月20日 松下 充宏
------------	---------------------------

12.その他の取組み

1.環境保全への取組み

活動名	実施年月日	活動団体名
交通エコポイント活用社会還元事業への寄付	令和6年9月	高知県地球温暖化防止県民会議
森ヶ内ふれあい事業への参加	令和6年7月	しこくの森づくりに参加する会
四万十町管内 土木の日への参加	令和6年11月	高幡地区建設業協会

2.その他の環境保全への取組み

国道381号ロードボランティア・県道・会社周辺等の清掃活動の実施



こうちSDGs登録

『土木の日』活動状況



エコ整備の推進 自動車部 【デポジットクリーナーの添加】

効果:デポジットクリーナーを燃料に添加することにより、エンジン内部のデポジット堆積に起因する不具合を未然に防止し、燃費性能維持につながるため、顧客への添加推奨を行っている

